

に関する研究

- 5 全所的な研究情報ネットワークの開発
- 6 化学物質の安全性に関する研究

(II) 調査に関する業務

毒 性 部

(I) 研究に関する業務

- 1 既存化学物質及び農薬等の安全性に関する試験
- 2 家庭用品に含まれる化学物質の安全性に関する試験
- 3 食品及び食品添加物の安全性に関する試験
- 4 医薬品及び医用材料の安全性に関する試験
- 5 発生・生殖障害に関する基礎的研究
- 6 分裂細胞系の組織傷害性毒性に関する研究
- 7 非分裂細胞系の組織傷害性毒性に関する研究
- 8 シグナル伝達系を介した細胞傷害発現機構の研究
- 9 毒性試験法の開発に関する研究

(II) 調査に関する業務

薬 理 部

(I) 研究に関する業務

- 1 有効性・安全性評価のための科学技術開発に関する研究
- 2 医薬品等の中枢機能に及ぼす影響に関する薬理学的研究
- 3 生体機能における情報伝達に関する薬理学的研究
- 4 医薬品等のトキシコキネティクスに関する研究
- 5 医薬品等の細胞機能に及ぼす影響に関する薬理学的研究

(II) 調査に関する業務

病 理 部

(I) 研究に関する業務

- 1 自然発生病変の診断の確立に関する研究

2 化学物質の臓器障害性に関する研究

3 食品添加物、農薬、医薬品の安全性に関する研究

4 化学物質の安全性評価に関する研究

5 有害性評価の生体指標に関する研究

6 動物発癌モデルの確立に関する研究

7 発癌過程に影響を及ぼす諸因子の研究

8 化学物質データベースシステムの作成に関する研究

(II) 調査に関する業務

変 異 遺 伝 部

(I) 研究に関する業務

- 1 生活関連化合物の安全性に関する研究
- 2 変異原性試験法の改良と新しい手法の開発に関する研究
- 3 突然変異誘発機構に関する基礎的研究
- 4 変異原性試験のデータベースに関する研究
- 5 細胞株の収集、保存、開発に関する研究

(II) 調査に関する業務

総合評価研究室

(I) 研究に関する業務

- 1 化学物質の総合的評価手法に関する研究
- 2 リスクアセスメントに必要なデータベースの構築に関する研究

(II) 調査に関する業務

医薬品医療機器審査センター

(I) 研究に関する業務

- 1 医薬品の承認審査に関する研究

大阪支所薬品試験部

(I) 研究に関する業務

- 1 医薬品の分析化学的研究
- 2 医薬品の有効性と安全性に関する物理化学的研究
- 3 創薬基盤技術の開発に関する生物化学的研究
- 4 標準品に関する研究

(II) 検定検査に関する業務

(III) 製造に関する業務

大阪支所食品試験部

(I) 研究に関する業務

- 1 食品添加物等の安全性に関する研究
- 2 残留農薬の分析等に関する研究
- 3 輸入食品検査に関する研究
- 4 新開発食品素材の安全性評価に関する研究
- 5 生物システムに作用する化学物質の機能と
三次元構造相関の解明
- 6 生体内生理活性物質の生化学的研究
- 7 内分泌攪乱化学物質の高感度分析法に関する研究

(II) 検定検査に関する業務

(III) 製造に関する業務

大阪支所生物試験部

(I) 研究に関する業務

- 1 発熱性物質に関する研究
- 2 医薬品の有効性、安全性に関する研究
- 3 創薬研究及び創薬研究資源の開発に関する研究

(II) 検定検査に関する業務

(III) 製造に関する業務

北海道薬用植物栽培試験場

(I) 研究に関する業務

- 1 薬用植物の優良系統の選抜・育成に関する研究
- 2 薬用植物の栽培に関する研究

(II) 調査に関する業務

筑波薬用植物栽培試験場

(I) 研究に関する業務

- 1 薬用植物の優良系統の選抜・育成に関する研究
- 2 薬用植物の栽培に関する研究
- 3 薬用植物の組織培養に関する研究

4 薬用植物の遺伝子資源の収集、保存及び開発に関する研究

(II) 調査に関する業務

伊豆薬用植物栽培試験場

(I) 研究に関する業務

- 1 薬用植物の優良系統の選抜・育成に関する研究
- 2 薬用植物の栽培に関する研究

(II) 調査に関する業務

和歌山薬用植物栽培試験場

(I) 研究に関する業務

- 1 薬用植物の栽培に関する研究
- 2 薬用植物の加工調製に関する研究

(II) 調査に関する業務

種子島薬用植物栽培試験場

(I) 研究に関する業務

- 1 薬用植物の優良系統の選抜・育成に関する研究
- 2 薬用植物の栽培に関する研究
- 3 植物の遺伝子資源の収集・保存及び開発に関する研究

(II) 調査に関する業務

地研全国協議会の研修に対する役割について

- 1 情報の収集と周知（研修計画、人材・内容、施設など）
（北海道、仙台市、山形、福島、群馬、埼玉、千葉、東京、名古屋市、岐阜、兵庫、大阪、大阪市、奈良、鳥取、山口、高知、長崎、大分、鹿児島）
- 2 テーマを定めての研修及び企画調整
（函館市、青森、福井、岐阜、大阪市、尼崎市、和歌山市、島根、福岡、佐賀）
- 3 国とのパイプ（要請、要望、研修計画への参加）
（北海道、千葉市、横須賀市、静岡、神戸市、大阪、奈良、山口、福岡、福岡市、熊本市）
- 4 検査法、先端技術、緊急的な研修など
（青森、群馬、東京、杉並区、横浜市、栃木、愛知、奈良、鳥取、広島、広島市、大分）
- 5 予算（旅費）の確保
（大阪、神戸市、岡山、山口）
- 6 ブロック内外の参加と交流強化
（仙台市、杉並区、石川、三重）
- 7 講師の派遣（石川、福井、名古屋市）
- 8 教材の作成、研修場所の選定（広島市、長崎、大分）
- 9 事例、地研共通テーマ（杉並区、横浜市、横須賀市、山口）
- 10 疫学、検出法のテーマが主流であればよい（富山）
- 11 国、協議会の研修をブロック単位で実施（岐阜市）
- 12 試薬、菌株の分与（和歌山市）
- 13 現地見学（山口）
- 14 時の話題のテーマの講演（川崎市）
- 15 参加出来ない場合もあるので複数回の開催（島根）

分析

- (1) 地研全国協議会に求められるのが、情報の収集と周知であり、20地研と突出している。
- (2) 研修や企画調整に対しては10地研、国とのパイプは11地研と多く、調整機能が求められている。
- (3) 技術に対する研修も12地研と強い。
- (4) 予算の確保、特に旅費の確保も少数ではあるが、出ている。
- (5) 地研同志の交流や地研共通のテーマなど地研間のつながりを強化する場の設定が求められている。

アンケートの内容

北海道・東北・新潟

機 関 名	意 見
北海道立衛生研究所	各地方衛生研究所の取り組み状況をとりまとめ周知するとともに、国や国立試験研究機関に要望すべき課題については、実現するよう努めて欲しい。
札幌市衛生研究所	
函館市衛生試験所	現状では、当所は他の衛研と比較しますとレベルが落ちます。支部の単位で結構なのですが、定期的にテーマを定めて技術研修を行って頂きたいと思っております。
青森県環境保健センター	ブロックごとに毎年除々(ウ)テーマを決め、定期的実施して欲しい 検査法のバリデーションを検査項目ごとにブロック等グループで分担し順次実施して欲しい。
仙台市衛生研究所	国立試験研究機関、全国地方衛生研究所等が行う予定の研修内容の集約と周知。 ブロック内の交流。
山形県衛生研究所	各地研職員を講師とした研修会講師バンクの作成、提供、更新。 研修会の相談ができる施設、人材のリスト作成、更新。
福島県衛生公害研究所	地研ブロックで企画立案されて提示された内容、課題について調整整理する。(コントロールタワーの役割)

関東・甲信・静岡

機 関 名	意 見
栃木県保健環境センター	大規模かつ緊急に対応しなければならない事件簿等が発生した場合において適切な検査方法等に係る研修の実施を期待したい。
群馬県保健環境研究所	国、大学等が行わない研修(例：衛生害虫、ウイルス特殊検査等)を行うことを期待する。 先進的に取り組んでいる事項について、地研名と項目名を作成する。
埼玉県衛生研究所	定期的な情報交換
千葉県衛生研究所	常に情報提供を行う。 国の研修方針の立案、実施計画の立案に参画する。
東京都立衛生研究所	実際的な内容をもった研修が望ましい。 各地研にはその地域、立場により得意な分野があるこれを公開研修として全国協議会で取り上げて欲しい。
杉並区衛生試験所	地研の先端技術や調査研究の紹介とそのノウハウ 研修を通じた地研間のコミュニケーションの確立 各地研で起きた事例について取り組んだ事例研修
神奈川県衛生研究所	研修に関する要望をとりまとめ、研修実施をサポートする。
横浜市衛生研究所	学術的な研修だけではなく、技術的な研修も積極的に開催して欲しい。 地研に共通なテーマでトピックなもの 研修会の運営(研修の調査、企画、実施)についての研修 例：研修ニーズの把握のしかた 研修受け入れ可能テーマの把握方法 研修の実施計画のたて方
川崎市衛生研究所	その時に話題になっているテーマについて全国協議会の特別講演等で行えるようにしてもらいたい。
横須賀市衛生試験所	GLPや腸管出血性大腸菌の検出等地研として取り組んでいかなければならない問題についての研修会を開いて欲しい。 各地研からの研修課題の収集とりまとめを行い、厚生省等への研修実施を働きかけて欲しい、あるいは地研協議会で実施して欲しい。
静岡市衛生試験所	分析法の開発等の国と連携した研修が実施されるようお願いしたい。

東海・北陸

機 関 名	意 見
富山県衛生研究所	疫学検出法に関するテーマが主流であればよい
石川県保健環境センター	担当者の相互交流（短期・長期）推進 講師の派遣
福井県衛生研究所	現場ニーズの把握と定期研修の企画 ブロック単位研修会への講師確保と派遣
愛知県衛生研究所	0-157発生時における緊急的な研修
名古屋市衛生研究所	有意義な研修の把握と情報提供 講師の地方派遣依頼
岐阜県保健環境研究所	研修計画情報の伝達 戦略的研修計画の企画、調整
岐阜市衛生試験所	国、協議会での研修分野をブロック単位で開催し、問題を持った地研がそれらをうまく利用できるような、長期的計画の基に実施されることを期待する。
三重県衛生研究所	ブロック毎の連絡を密にし、主催ブロックの研修に参加出来るようなシステムの確立

近 畿

機 関 名	意 見
大阪府立公衆衛生研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・研修可能な項目と地研リストを作成すること ・研修を実施するための予算分担を明確化すること ・研修参加費用の捻出方法を検討する必要がある ・時代の要請に対応できる研修テーマの策定と研修実施への国への働きかけ
大阪市立環境科学研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・各種情報のネットワーク化 ・調整
兵庫県立衛生研究所	各地研で研修可能なテーマの情報を収集し、提供してもらいたい
神戸市環境保健研究所	研修費用がないので、国の政治的な規制のために必要な検査については、それぞれの地研に十分な研修費（旅費）をあててくれるよう要望していくこと
尼崎市立衛生研究所	経費、職員数等の関係などで独自に研修を開催することは困難な状況なので、全国協議会や支部単位で実施される研修会に対しては試験検査技術等のノウハウを学習する唯一の場として期待している。
奈良県衛生研究所	地研業務に即応している点で極めて実用的と思われる。 地研間の情報交換と研修に関する連絡調整、並びに国とのパイプ役。
和歌山市衛生研究所	現在及び将来において、各地衛生研で実施が求められる検査項目のうち、研修を必要とされるものについて、速やかに研修を計画、開催していただけますようお願いいたします。 また、入手困難な試薬や菌株を研修の場を通じてご分与していただけますようお願いいたします。

中国・四国

機 関 名	意 見
鳥取県衛生研究所	全国規模で今後取り組む必要のある課題について情報収集し、最新の分析技術等の研修体制を整える
島根県衛生公害研究所	研修（全国、ブロックレベル）の企画調整 多くの地研職員は複数あるいは広範囲な業務を担当するため、都合により研修に参加できない場合、異動により技術保持が困難となることを考えると複数回（年）の開催を設定してほしい。
岡山県環境保健センター	研修予算の確保をしてほしい
広島県保健環境センター	事案（コレラ、ベスト等の感染症）対応のための再確認のための或いは、新しい検査法の技術研修精度管理を進めるための技術研修等を適宜実施してもらいたい。

機 関 名	意 見
広島市衛生研究所	1. 実施要領の作成（研修の名目を総務に理解させるために、要領、要項の様なものが必要、また研修マニュアル、ビデオ等の教材の整備） 2. システムを先ず作り、内容は緊急性を要するものを取り入れる（研修の企画立案をシステムチェックを行う委員会を学術委員会か、強化部会の中に設ける）
山口県衛生公害研究センター	地研が希望する共通テーマ（例：ダイオキシン問題）の講義及び現地見学の実施研修の情報収集、企画立案と研修費用の獲得（厚生省等へ地研間の研修の必要性を認知させ、充実の為の協力を求める働きかけ）
高知県衛生研究所	研修情報の交換の場の設定

九 州

機 関 名	意 見
福岡県保健環境研究所	「国立試験研究機関」と地研が連携して技術研修、精度管理を定期的を実施し、危機管理に対処できるシステムの構築が望まれる。 （保健所等に対しては伝達講習会を地研が実施する）
福岡市保健環境研究所	各地研から国への意見をまとめること
佐賀県衛生研究所	時代的ニーズに応じたテーマ及び衛研の最低でもやるべき研修テーマを確立し、ブロック研修
長崎県衛生公害研究所	研修用教材の作成 先端情報の提供
大分県衛生環境研究センター	技術向上に関する研修テーマの研究 研修場所の選定 研修情報の提供
熊本市環境総合研究所	各地研と厚生省とのパイプ役であって欲しい 厚生省が行う研修も含めて年間計画をたて、年度始めに各地研に通知して欲しい。
鹿児島県衛生研究所	〇〇についてはどこの地研に研修をお願いすれば良いというようなネットワークが欲しい

厚生省、国立試験研究機関へ要望する研修テーマについて

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 残留農薬分析法（新分析法を含む）
（函館市、青森、群馬、杉並区、横須賀市、静岡、岐阜市、尼崎市、神戸市、島根、山口、香川、福岡、熊本市） 2 新興、再興感染症
（新潟、横浜市、静岡、福井、愛知、大阪、大阪市、神戸市、沖縄） 3 GLP
（北海道、仙台市、千葉市、横須賀市、浜松市、岐阜、大阪、広島、熊本） 4 新技術法、最先端の技術研修
（山形、埼玉、千葉市、横浜市、奈良、広島市、北九州市、佐賀、長崎、熊本市） 5 疫学
（青森、仙台市、新潟、兵庫、奈良、島根） 6 カビ、酵母、寄生虫、原虫など
（函館市、福島、千葉、尼崎市、和歌山市、三重、宮崎） 7 国際的テーマ、最新テーマ
（杉並区、横浜市大阪、尼崎市、広島、北九州市） 8 遺伝子解析など
（杉並区、和歌山市、神戸市、山口、熊本） 9 動物医薬品分析
（青森、尼崎市、山口、熊本市） 10 環境汚染物質（杉並区、島根、大分） 11 腸管出血性大腸菌の検出、解析（北海道、和歌山市） 12 水質（群馬、宮崎） 13 ダイオキシン（神戸市、岡山） 14 新規制物質の分析、法改正による検査法
（茨城、兵庫、熊本市） 15 食中毒（札幌市、徳島） 16 厚生省が各ブロックに出張し、研修をする。 | <ol style="list-style-type: none"> （京都市） 17 抗菌剤（杉並区、福岡） 18 衛生害虫（新潟） 19 クリプトスポリジウム（北海道） 20 新任所長研修（鳥取） 21 試験検査法の国立研修センターの設置
（仙台市、長崎市） 22 食品、薬品分析（静岡、広島市） 23 研修担当者の研修（高知） 24 対人保健分野の事例（滋賀） 25 研修の開示、情報の発信システムの確立
（横浜市、岐阜市） 26 今後問題になると思えるものや情報研修
（仙台市、横須賀市、大阪、広島市） 27 伝染力の疾患、不明疾患への対応（仙台市） 28 ヒト、DNA診断（富山） 29 化学検査の強化（浜松市） 30 標準品の供給システムの確立、品質管理
（札幌市、岐阜市） 31 添加物の分析（函館市、岐阜市） 32 法定伝染病菌の検査（岡山） 33 新任者の基礎コース（広島） 34 ウイルスの同定、検査（宮城、兵庫、大阪市） 35 重金属、有害化学物質の調査（尼崎市、滋賀） 36 麻痺性貝毒の分析（沖縄） 37 レファレンス、バイオ・ケミカルハザード
（広島市、長崎） 38 有害紫外線の測定（大分） 39 定期的に要望調査（東京） 40 技術者研修（静岡、名古屋市） 41 ホルモン作用攪乱物質等の情報（大阪市） 42 標準作業書の作成研修（広島市） 43 分析法等を国で開発し地研に流す（福岡市） |
|--|--|

分析

- (1) 国への研修テーマについては残留農薬の分析法を求める地研が多く、14地研となっている。
- (2) 早急に対応しなければならない課題としてのGLPや感染症も多くの地研が要望している。
- (3) 最新の技術やテーマを求める地研も多い。
- (4) 都道府県の市区地研が求めているテーマに温度差が出ている。
- (5) 新任所長研修から疫学まで43項目にわたるテーマが要望されている。

アンケート内容

北海道・東北・新潟

機 関 名	意 見
北海道立衛生研究所	GLPの内部精度管理に関する研修 クリプトスポリジウムの検査技術に関する研修 腸管出血性大腸菌の検出、解析等に関する研修
札幌市衛生研究所	食中毒起因菌についての標準的な検査法 検査機関における農薬標準品の品質管理について
函館市衛生試験所	カビ、酵母、寄生虫、食中毒原因ウイルスの研修 農薬分析の長期研修 天然添加物、食物繊維の分析の技術研修
青森県環境保健センター	動物用医薬品検査法 残留農薬分析法 疫学講習会
宮城県保健環境センター	国立公衆衛生院のウイルス研修を継続してほしい
仙台市衛生研究所	試験検査法を研修する国立の研修センターの設置（例えば環境庁環境研修センター） GLP総論、各論及び技術研修 公衆衛生情報関連研修 疫学調査スタッフ養成研修 高い病原性伝染力を持つ疾患への対応法 不明疾患への対応法
山形県衛生研究所	国が実施する新技術等の研修会参加者の伝達講習を含めて、広がりのあるシステムが必要
福島県衛生公害研究所	カビ、寄生虫等の検査に関する研修
新潟県保健環境科学研究所	新興・再興感染症の遺伝子診断技術（結核、寄生虫病、Q熱） 衛生害虫検査法 疫学情報解析技術

関東・甲信・静岡

機 関 名	意 見
茨城県衛生研究所	新規制物質に関する分析等の研修
栃木県保健環境センター	新しい分析方法、分析機器に関する研修を実施して欲しい。
群馬県保健環境研究所	残留農薬の新分析法の研修 WHO飲料水水質ガイドライン改訂の対象項目
埼玉県衛生研究所	真検査法等の規格統一に必要な研修
千葉県衛生研究所	人体寄生虫、原虫の検査法
千葉市環境保健研究所	最先端の技術研修 マネジメント研修（GLP、ISO、他）
東京都立衛生研究所	必要な事態になったときに必要なテーマの研修を行うことが望ましい。そのためには定期的要望調査も必要ではないか。
杉並区衛生試験所	国際的或るいは国内の問題に対する紹介と取り組むべき課題の研修 環境汚染物質の情報提供とその検査方法と解析評価 O157やエンテリデスのDNA解析結果の研修 残留農薬、抗菌性物質の研修
横浜市衛生研究所	最新技術や検査方法等に関して衛研からの要望があれば対応できるようにして欲しい。 公開できる研修に関しては積極的に開示して欲しい。 国際的に要求されるテーマ、最新のテーマについて対応をふまえて実施してほしい。 ex 新興、再興感染症の現状と対策 研究能力の開発手法 地方衛生研究所の役割（特に保健情報の収集、解析、提供機能について）

機 関 名	意 見
横須賀市衛生試験所	ウイルス、真菌、原虫等で今後日本でも問題となるようなものについて研修を行って欲しい。 最新の残留農薬分析法の研修（新規項目について） GLP実施に伴う各種の課題についての研修（GLPの実務方法）
静岡県環境衛生科学研究所	新興感染症、再興感染症について 食品、医薬品等の具体的な分析法バリデーション方法について
静岡市衛生試験所	残留農薬分析の統一分析法の開発と研修 PCRに関連した検査員の技術研修と研修所の設置（環境庁が実施しているような実習形式）
浜松市衛生試験所	微生物検査面の研修体制は充実していますが今後、化学検査面の対応も検討していただきたい。 GLP関連の研修会も整備していただきたい。

東海・北陸

機 関 名	意 見
富山県衛生研究所	ヒトDNA診断の技術
福井県衛生研究所	危機管理を必要とする感染症への取り組み方、対応について
愛知県衛生研究所	新興、再興感染症への取り組み方について
名古屋衛生研究所	地研技術者、研究者を意識して研修テーマの設置
岐阜県保健環境研究所	GLPに必要となる統計手法の解説
岐阜市衛生試験所	世界的な観点に立った情報発信システムの確立 添加物、農薬等の検査方法の見直し 多成分分析の確立 標準品の安定供給システムの確立
三重県衛生研究所	病原性物質の検出法に関する研修

近 畿

機 関 名	意 見
滋賀県立衛生環境センター	微量有害化学物質の生態影響に関連した調査研究手法 対人保健分野での調査研究事例研修
京都市衛生公害研究所	研修テーマは例年通りでよいが旅費の関係で参加出来ないことがある。そこで可能ならば厚生省等が各ブロックに出張され実施されることを要望する。
大阪府立公衆衛生研究所	<ul style="list-style-type: none"> 新興再興感染症の新しい診断、解析技術に関する研修を可及的迅速に計画し実施すること 中途半端な技術伝達に終わらないこと（exO157解析法を研修するなら型別法まで伝達する） O157、SRSVなど実施されたように時代の要請に迅速に対応できる研修テーマ（特定しないが）を出して欲しい。 GMPとバリデーションに伴う試験検査の信頼性向上と精度管理
大阪市立環境科学研究所	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス性出血熱への対応 新興感染症への対応 ホルモン作用攪乱物質等の情報
兵庫県立衛生研究所	<ul style="list-style-type: none"> エンテロウイルスのPCRによる同定型別法（全国的に方法を統一するため） データマイニング手法の作製法
神戸市環境保健研究所	<ul style="list-style-type: none"> 新興、再興感染症の検査法・疫学解析法 ダイオキシン検査法 残留農薬検査法 DNAクローニング法、シーケンス法 遺伝子ライブラリーの作製法
尼崎市立衛生研究所	分析技術能力アップ研修 <ul style="list-style-type: none"> 食品添加物コース 原虫、寄生虫コース 農薬コース 真菌コース 動物医薬品コース トピックス的な研修コース 重金属コース

機 関 名	意 見
奈良県衛生研究所	対応に高度な技術と知識を要し、自治体での取り組みに当たり事前の研修を必要とする事象 集団感染症等の危険管理（特に疫学面での専門家育成）など
和歌山市衛生研究所	・レジオネラ菌検査技術 ・寄生虫検査技術 ・病原微生物の遺伝子解析技術

中国・四国

機 関 名	意 見
鳥取県衛生研究所	新任の衛生研究所長に対する研修
島根県衛生公害研究所	疫学担当者養成のための研修 食品及び環境中の残留農薬分析（実習） 室内汚染物質分析（実習）
岡山県環境保健センター	母乳中のダイオキシン分析法 通常検査する機会のない法定伝染病原菌検査
広島県保健環境センター	時々の問題となる事案をテーマとした技術指導 新任者の基礎コース 業務管理の各種標準作業書の作製に関する研修
広島市衛生研究所	レファンス機能に関する事項 緊急性を要する事項 医薬品の分析に関する研修 機器分析における技術研修（カリキュラムを組んだもの。例〇〇コース）
山口県衛生公害研究センター	SRSVに関する研修 残留農薬一斉分析法（厚生省通知）の研修（講義及び実習） 動物医薬品分析法の研修
香川県衛生研究所	残留農薬のGC/MSによる分析法
徳島県保健環境センター	ウイルス性食中毒に関する研修
高知県衛生研究所	地域保健関係者を対象とする研修を企画・実施する研修担当者に対する研修を希望する。特に、 研修の企画力アップ・研修評価方法の標準化について

九州

機 関 名	意 見
福岡県保健環境研究所	農薬一斉分析について 抗菌製剤分析について
福岡市保健環境研究所	一斉分析法等地任せにせず、先ず国で開発し、研修で各地研へ情報発信する流れを定着させること。 各地研は、それぞれの地域性に応じた研究を伴うという形で役割分担する。
北九州市環境科学研究所	最新の技術、知見の伝達 国際的問題について、いち早く研修を行って欲しい。
佐賀県衛生研究所	地域保健法指針に基づく研究テーマの開設及び高度な技術研修の充実
長崎県衛生公害研究所	先端技術研修
長崎市保健環境試験所	環境研修センター的な研修及び研修所を厚生省においても作って欲しい
大分県衛生環境研究センター	有害紫外線の測定 室内空気環境への取り組み
熊本県保健環境科学研究所	遺伝子解析－腸管出血性大腸菌等の新しい技術をGLPに関する研究頻繁に。
熊本市環境総合研究所	農業や動物性医薬品等の技術研修 HPLCやGC/MSなど分析機器についての研修 法改定等に伴う検査法の変更に関する技術研修会 最新の検査技術についての研修会
宮崎県衛生環境研究所	原虫、寄生虫、真菌等の検査技術研修 飲料水の水質分析研究について、厚生省の受け入れ機関がないので、実現を望みたい。
鹿児島県衛生研究所	技術を中心とした1週間程度の研修会を開催して欲しい 現在提供されているテーマで充分と思える
沖縄県衛生環境研究所	新興・再興感染症に関する具体的な検査法 機器による麻痺性貝毒の分析法